



2022年3月期 第2四半期決算短信〔米国基準〕（連結）

2021年10月28日

上場会社名 株式会社 小松製作所 上場取引所 東
 コード番号 6301 URL <https://www.komatsu.jp/ja>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 啓之
 問合せ先責任者 (役職名) サステナビリティ推進本部 (氏名) 山下 千津子 TEL 03-5561-2616
 コーポレートコミュニケーション部長
 四半期報告書提出予定日 2021年11月11日 配当支払開始予定日 2021年12月1日
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家、報道機関向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	1,291,400	34.8	136,284	125.9	136,509	133.2	93,141	149.7
2021年3月期第2四半期	957,717	△21.1	60,342	△57.5	58,530	△54.3	37,294	△58.6

(注) 四半期包括利益 2022年3月期第2四半期 112,684百万円 (126.0%) 2021年3月期第2四半期 49,866百万円 (84.5%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	98.56	98.53
2021年3月期第2四半期	39.48	39.46

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計 (純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり 株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第2四半期	3,853,507	2,113,861	1,997,728	51.8	2,113.41
2021年3月期	3,784,841	2,012,025	1,912,297	50.5	2,023.34

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	18.00	—	37.00	55.00
2022年3月期	—	40.00	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	40.00	80.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,683,000	22.5	282,000	68.5	277,000	70.2	187,000	76.0	197.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 0社（社名）、除外 0社（社名）

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2022年3月期2Q	973,145,800株	2021年3月期	972,887,610株
2022年3月期2Q	27,881,871株	2021年3月期	27,766,444株
2022年3月期2Q	944,147,853株	2021年3月期2Q	944,084,657株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがあります。そのような要因としては、主要市場の経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動、及び国内外の各種規制並びに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

(参考) 2022年3月期第2四半期(3カ月)の連結業績(2021年7月1日~2021年9月30日)

(百万円未満四捨五入)

連結経営成績(3カ月)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第2四半期	643,134	28.9	74,534	123.0	75,055	149.9	52,249	148.3
2021年3月期第2四半期	498,986	△17.3	33,423	△50.3	30,033	△51.0	21,043	△50.6

	1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第2四半期	55.29	55.27
2021年3月期第2四半期	22.27	22.26

○添付資料

目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 6
2. その他の情報	P. 7
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動	P. 7
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 7
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更	P. 7
3. 四半期連結財務諸表	P. 8
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 12
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 13
(5) セグメント情報	P. 13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

コマツは、2022年3月期をゴールとする3カ年の中期経営計画「DANTOTSU Value - FORWARD Together for Sustainable Growth」において、①イノベーションによる価値創造、②事業改革による成長戦略、③成長のための構造改革を成長戦略3本柱として掲げており、将来に向けて収益向上とESG（環境・社会・ガバナンス）の課題解決の好循環による持続的成長を目指して活動を継続しています。

本中期経営計画の最終年となる2022年3月期の第2四半期連結累計期間（2021年4月1日から2021年9月30日まで）において、連結売上高は1兆2,914億円（前年同期比34.8%増加）となりました。建設機械・車両部門では、前年同期における新型コロナウイルス感染症の影響が縮小し、一般建機・鉱山機械ともに中国以外の地域において需要が好調に推移しました。半導体やコンテナ不足の影響をクロスソーシングの活用などにより吸収し、新車需要の拡大を着実に取り込んだことに加え、部品・サービス売上げも増加したことから、売上高は前年同期を大幅に上回りました。産業機械他部門では、鍛圧機械、板金機械、工作機械については各国で経済活動の規制が緩和され、海外での据付け工事の完了などにより売上げが増加しました。加えて、半導体産業向けのエキシマレーザー関連事業などの需要が好調に推移したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

利益については、建設機械・車両部門における各地域での販売量増加や販売価格の改善、円安の影響により、営業利益は1,362億円（前年同期比125.9%増加）となりました。売上高営業利益率は前年同期を4.3ポイント上回る10.6%、税引前四半期純利益は1,365億円（前年同期比133.2%増加）、当社株主に帰属する四半期純利益は931億円（前年同期比149.7%増加）となりました。

本年9月に発行したコマツレポート（統合報告書）において、本中期経営計画で掲げたCO₂排出削減に関する経営目標の延長として、2050年までにCO₂排出を実質ゼロとするカーボンニュートラルに向けた取り組みに関する長期ビジョンを発表しました。同取り組みとして、鉱山現場の温室効果ガス排出削減を目指し、大手鉱山企業とともに「コマツGHGアライアンス」を発足しました。

（金額単位：百万円）

	前第2四半期 連結累計期間 [A] 1ドル = 107.1円 1ユーロ = 121.4円 1元 = 15.2円	当第2四半期 連結累計期間 [B] 1ドル = 110.1円 1ユーロ = 131.1円 1元 = 17.0円	増減率 % [(B-A)/A]
売上高	957,717	1,291,400	34.8%
建設機械・車両	876,550	1,185,363	35.2%
リテールファイナンス	32,752	36,979	12.9%
産業機械他	64,938	81,695	25.8%
消去	△16,523	△12,637	—
セグメント利益	60,757	134,820	121.9%
建設機械・車両	52,217	118,620	127.2%
リテールファイナンス	4,682	7,845	67.6%
産業機械他	4,102	8,598	109.6%
消去又は全社	△244	△243	—
営業利益	60,342	136,284	125.9%
税引前四半期純利益	58,530	136,509	133.2%
当社株主に帰属する四半期純利益	37,294	93,141	149.7%

（注）セグメント別売上高は、注記のないものはすべてセグメント間取引消去前ベースです。

部門別の概況は以下のとおりです。

[建設機械・車両]

建設機械・車両部門の売上高は1兆1,853億円（前年同期比35.2%増加）、セグメント利益は1,186億円（前年同期比127.2%増加）となりました。

中期経営計画の成長戦略「イノベーションによる価値創造」においては、自動化・自律化、電動化、遠隔操作化の取り組みを着実に推進しました。鉱山機械見本市「MINExpo INTERNATIONAL 2021」において、超大型油圧ショベル「PC7000-11」の遠隔操作と無人専用運搬車両との協調による半自動化作業のデモンストレーションを紹介しました。また、カーボンニュートラルを目指して、いかなる動力源でも稼働可能なパワーアグノスティック超大型ダンプトラックのコンセプトを発表しました。国内では、現場の安全性向上を目指し、電動式フォークリフト「FE25/30-2」およびホイールローダー「WA270/320-8」に、オペレーターの後方安全確認を光と音でサポートする衝突検知警報システムの搭載を進めました。

「事業改革による成長戦略」では、東南アジア地域において2ラインモデル戦略を開始し、都市土木作業に特化して仕様を最適化した油圧ショベルCEシリーズ「PC200-10M0」の販売促進に努めました。また、坑内掘りハードロック向けに「No Blasting（発破の必要がない掘削性能）、No Batch（バッチ処理をおこなわない連続掘削）、No Diesel（ディーゼル不使用）」というスローガンを具現化する初めての製品であるダイナカットの新モデル「MC51」と、岩盤掘削新工法の開発を進め、お客さまとのトライアル提携を開始しました。

「成長のための構造改革」では、コマツ初のカーボンニュートラル工場として、新たな生産技術を織り込んだコマツフォレストABの新工場が生産開始しました。

建設機械・車両部門の地域別売上高（外部顧客向け売上高）

（金額単位：百万円）

	前第2四半期 連結累計期間 [A]	当第2四半期 連結累計期間 [B]	増 減	
			金 額 [B-A]	増減率 % [(B-A)/A]
日本	132,208	136,123	3,915	3.0%
北米	204,120	262,038	57,918	28.4%
中南米	125,316	191,711	66,395	53.0%
米州	329,436	453,749	124,313	37.7%
欧州	79,594	116,390	36,796	46.2%
CIS	47,962	92,616	44,654	93.1%
欧州・CIS	127,556	209,006	81,450	63.9%
中国	71,887	50,179	△21,708	△30.2%
アジア(※)	52,396	111,472	59,076	112.7%
オセアニア	102,183	132,282	30,099	29.5%
アジア(※)・オセアニア	154,579	243,754	89,175	57.7%
中近東	11,807	20,645	8,838	74.9%
アフリカ	36,841	68,177	31,336	85.1%
中近東・アフリカ	48,648	88,822	40,174	82.6%
合計	864,314	1,181,633	317,319	36.7%

(※) 「アジア」は日本及び中国を除きます。

地域別の概況は以下のとおりです。

<日本>

日本では、新型コロナウイルス感染症の影響が小さく、公共工事及び民間工事向けともに需要が堅調に推移したことにより、売上高は前年同期を上回りました。

<米州>

北米では、一般建機の需要は、エネルギー関連向けは低調であるものの、住宅建設、インフラ、レンタル向けが引き続き好調に推移しました。加えて、鉱山機械の部品・サービスの売上げが増加したことから、売上高は前年同期を上回りました。

中南米では、一般建機・鉱山機械ともに需要が好調に推移しました。主に銅鉱山向けの鉱山機械販売が増加したことや、各国政府の景気下支え策の影響もありブラジル、チリを中心に一般建機需要が堅調に推移したことにより、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

<欧州・CIS>

欧州では、景気下支え策の影響などにより主要市場であるドイツ、英国、フランスに加えイタリアにおいてもインフラ向けの需要が回復したことにより、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

CISでは、インフラ及びエネルギー関連向けの一般建機の需要が好調であることに加え、金鉱山向けなどの鉱山機械需要も好調に推移したことにより、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

<中国>

中国では、新型コロナウイルス感染症の影響により昨年発生した春節後の販売シーズンの後ろ倒しの影響がなくなったことや、インフラ投資の停滞や環境規制による現場の稼働時間の減少により、需要が低迷しました。また、中国メーカーの販売比率上昇の影響もあり、売上高は前年同期を大幅に下回りました。

<アジア・オセアニア>

アジアでは、新型コロナウイルス感染症が再拡大している地域があるものの、インドネシアにおける石炭向け鉱山機械が堅調であったことや、インドネシア、フィリピンなどにおける一般建機の需要がともに好調であったことから、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

オセアニアでは、鉄鉱石や石炭向け鉱山機械及び一般建機の需要が堅調に推移し、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

<中近東・アフリカ>

中近東では、トルコでの需要が引き続き堅調であることに加え、サウジアラビアでの一般建機の需要が増加したこともあり、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

アフリカでは、南部アフリカ地域において鉱山機械の需要が増加したことと、その他地域においても一般建機の需要が好調であったことから、売上高は前年同期を大幅に上回りました。

[リテールファイナンス]

リテールファイナンス部門では、一般建機及び鉱山機械の販売増加に伴い、新規取組高が増加したことから、売上高は369億円（前年同期比12.9%増加）となりました。セグメント利益は、リースアップ車の評価額が改善したことに加え、前年同期における新型コロナウイルス感染拡大時に実施した支払猶予の影響などがなくなったことから、78億円（前年同期比67.6%増加）となりました。

[産業機械他]

産業機械他部門では、鍛圧機械、板金機械、工作機械については、新型コロナウイルス感染症の影響縮小に伴い、各国で経済活動の規制が緩和され、海外のお客さまの現場における据付け工事の完了などにより売上げが増加しました。加えて、半導体産業向けのエキシマレーザー関連事業などの需要が好調に推移したことにより、売上高は816億円（前年同期比25.8%増加）、セグメント利益は85億円（前年同期比109.6%増加）となりました。

ギガフォトン（株）では、半導体産業向けのエキシマレーザー関連事業の需要増加に対応するため、生産能力を従来の2倍に増強する取り組みに着手しました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報**<財政状態>**

当第2四半期連結会計期間末は、たな卸資産等の増加により総資産は前期末に比べ686億円増加の3兆8,535億円となりました。有利子負債残高は、前期末に比べ454億円減少の8,645億円となりました。また、株主資本は前期末に比べ854億円増加の1兆9,977億円となりました。これらの結果、株主資本比率は前期末に比べ1.3ポイント増加の51.8%となりました。

<キャッシュ・フロー>

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは、たな卸資産が増加したものの、四半期純利益により、1,574億円の収入（前年同期比48億円の収入増）となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の購入などにより、693億円の支出（前年同期比107億円の支出減）となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払いなどにより、590億円の支出（前年同期は870億円の支出）となりました。これらに為替変動の影響を加えた結果、現金及び現金同等物の当四半期末残高は前期末に比べ310億円増加し、2,728億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

<今期の見通し>

建設機械・車両部門において、新型コロナウイルス感染症の影響が縮小し、上期は一般建機・鉱山機械ともに中国以外の地域において需要が好調に推移しました。下期についても、北米、欧州、アジアを中心に需要が引き続き好調に推移することが予想され、増収が見込まれます。

利益については、資材価格や物流コスト上昇の影響が見込まれるものの、販売量増加や販売価格及び原価の改善などにより増益となる見通しです。

また、業績予想の前提となる為替レートの見直し（下期平均の為替レートを1米ドル=107円、1ユーロ=126円、1人民元=16.5円に変更）により、本年4月30日に公表しました連結業績予想につき、売上高および利益を修正するものです。

通期平均の為替レートは、1米ドル=108.5円、1ユーロ=128.6円、1人民元=16.8円となります。（前回通期平均の為替レート見直し1米ドル=105.0円、1ユーロ=124.0円、1人民元=16.0円）

■2022年3月期通期連結業績予想数値の修正（2021年4月1日～2022年3月31日）

	売上高	営業利益	税引前 当期純利益	当社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり当社 株主に帰属する 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回予想 (A) (2021年4月30日公表)	2,469,000	225,000	217,000	146,000	154.48
今回修正予想 (B)	2,683,000	282,000	277,000	187,000	197.85
増減額 (B-A)	214,000	57,000	60,000	41,000	
増減率 (%)	8.7	25.3	27.6	28.1	
前期実績 (2021年3月期)	2,189,512	167,328	162,775	106,237	112.43

<利益配分に関する基本方針及び当期の配当>

当社は、持続的な企業価値の増大を目指し、健全な財務体質の構築と競争力強化に努めています。配当金につきましては、連結業績に加え、将来の投資計画やキャッシュ・フローなどを総合的に勘案し、引き続き安定的な配当の継続に努めていく方針です。具体的には、連結配当性向を40%以上とする方針です。

このような基本方針のもと、当第2四半期末の配当金につきましては、当第2四半期末までの業績ならびに今後の事業展開を勘案し、本年4月30日に公表した前回予想から9円増額し、1株につき40円といたします。なお、期末配当金の予想についても、前回予想から9円増額し、1株につき40円に修正いたします。これにより、当期の年間配当金は、1株当たり80円となり、前期(2021年3月期)実績から25円増配、連結配当性向は40.4%となる予想です。

前述の将来の業績予想に関する予想、計画、見通しなどは、現在入手可能な情報に基づき当社の経営者が合理的と判断したものです。実際の業績は様々な要因の変化により、本資料の予想、計画、見通しとは大きく異なることがありうることをあらかじめご理解下さい。そのような要因としては、主要市場の経済状況及び製品需要の変動、為替相場の変動、及び国内外の各種規制並びに会計基準・慣行等の変更などが考えられます。

2. その他の情報

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社（特定子会社）の異動
該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更／会計方針の変更・会計上の見積りの変更
 - ①会計基準等の改正に伴う会計方針の変更
該当事項はありません。

 - ②①以外の会計方針の変更
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

区分	前連結会計年度末 (2021年3月31日)		当第2四半期連結会計期間末 (2021年9月30日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(資産の部)				
流動資産				
現金及び現金同等物	241,803		272,828	
定期預金	1,324		1,174	
受取手形及び売掛金	820,698		796,834	
たな卸資産	793,852		849,235	
その他の流動資産	131,615		137,443	
流動資産合計	1,989,292	52.6	2,057,514	53.4
長期売上債権	446,860	11.8	459,302	11.9
投資				
関連会社に対する投資及び貸付金	39,286		38,329	
投資有価証券	8,236		8,659	
その他	2,511		2,785	
投資合計	50,033	1.3	49,773	1.3
有形固定資産	787,373	20.8	779,788	20.3
オペレーティングリース使用权資産	57,930	1.5	58,405	1.5
営業権	170,687	4.5	170,911	4.4
その他の無形固定資産	168,981	4.5	162,811	4.2
繰延税金及びその他の資産	113,685	3.0	115,003	3.0
資産合計	3,784,841	100.0	3,853,507	100.0

区分	前連結会計年度末 (2021年3月31日)		当第2四半期連結会計期間末 (2021年9月30日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
(負債の部)				
流動負債				
短期債務	271,462		204,826	
長期債務 －1年以内期限到来分	98,004		245,578	
支払手形及び買掛金	258,316		268,948	
未払法人税等	26,858		37,232	
短期オペレーティングリース負債	15,882		15,603	
その他の流動負債	322,347		321,305	
流動負債合計	992,869	26.2	1,093,492	28.4
固定負債				
長期債務	540,517		414,157	
退職給付債務	104,083		98,577	
長期オペレーティングリース負債	39,982		41,175	
繰延税金及びその他の負債	95,365		92,245	
固定負債合計	779,947	20.6	646,154	16.7
負債合計	1,772,816	46.8	1,739,646	45.1
(純資産の部)				
資本金	69,037		69,393	
資本剰余金	135,835		149,154	
利益剰余金				
利益準備金	47,378		47,633	
その他の剰余金	1,750,914		1,808,814	
その他の包括利益(△損失)累計額	△42,012		△27,915	
自己株式	△48,855		△49,351	
株主資本合計	1,912,297	50.5	1,997,728	51.8
非支配持分	99,728	2.7	116,133	3.1
純資産合計	2,012,025	53.2	2,113,861	54.9
負債及び純資産合計	3,784,841	100.0	3,853,507	100.0

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

四半期連結損益計算書

区分	前第2四半期連結累計期間 自 2020年4月1日 至 2020年9月30日		当第2四半期連結累計期間 自 2021年4月1日 至 2021年9月30日	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
売上高	957,717	100.0	1,291,400	100.0
売上原価	699,812	73.1	932,561	72.2
販売費及び一般管理費	197,148	20.6	224,019	17.3
その他の営業収益 (△費用)	△415	△0.0	1,464	0.1
営業利益	60,342	6.3	136,284	10.6
その他の収益 (△費用)				
受取利息及び配当金	2,414	0.3	2,135	0.2
支払利息	△7,406	△0.8	△5,749	△0.4
その他 (純額)	3,180	0.3	3,839	0.3
合計	△1,812	△0.2	225	0.0
税引前四半期純利益	58,530	6.1	136,509	10.6
法人税等	17,098	1.8	38,697	3.0
持分法投資損益調整前四半期純利益	41,432	4.3	97,812	7.6
持分法投資損益	1,189	0.1	1,485	0.1
四半期純利益	42,621	4.5	99,297	7.7
控除：非支配持分に帰属する四半期純利益	5,327	0.6	6,156	0.5
当社株主に帰属する四半期純利益	37,294	3.9	93,141	7.2
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的		39.48円		98.56円
希薄化後		39.46円		98.53円

四半期連結包括利益計算書

区分	前第2四半期連結累計期間 自 2020年4月1日 至 2020年9月30日	当第2四半期連結累計期間 自 2021年4月1日 至 2021年9月30日
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
四半期純利益	42,621	99,297
その他の包括利益 (△損失) - 税控除後		
外貨換算調整勘定	6,506	10,658
年金債務調整勘定	487	1,787
未実現デリバティブ評価損益	252	942
合計	7,245	13,387
四半期包括利益	49,866	112,684
控除：非支配持分に帰属する四半期包括利益	7,315	5,459
当社株主に帰属する四半期包括利益	42,551	107,225

(第2四半期連結会計期間)
四半期連結損益計算書

区分	前第2四半期連結会計期間 自 2020年7月1日 至 2020年9月30日		当第2四半期連結会計期間 自 2021年7月1日 至 2021年9月30日	
	金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)
売上高	498,986	100.0	643,134	100.0
売上原価	365,092	73.2	457,480	71.1
販売費及び一般管理費	99,775	20.0	111,746	17.4
その他の営業収益 (△費用)	△696	△0.1	626	0.1
営業利益	33,423	6.7	74,534	11.6
その他の収益 (△費用)				
受取利息及び配当金	1,229	0.2	1,143	0.2
支払利息	△3,565	△0.7	△2,782	△0.4
その他 (純額)	△1,054	△0.2	2,160	0.3
合計	△3,390	△0.7	521	0.1
税引前四半期純利益	30,033	6.0	75,055	11.7
法人税等	7,280	1.5	20,667	3.2
持分法投資損益調整前四半期純利益	22,753	4.6	54,388	8.5
持分法投資損益	638	0.1	724	0.1
四半期純利益	23,391	4.7	55,112	8.6
控除：非支配持分に帰属する四半期純利益	2,348	0.5	2,863	0.4
当社株主に帰属する四半期純利益	21,043	4.2	52,249	8.1
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益				
基本的		22.27円		55.29円
希薄化後		22.26円		55.27円

四半期連結包括利益計算書

区分	前第2四半期連結会計期間 自 2020年7月1日 至 2020年9月30日	当第2四半期連結会計期間 自 2021年7月1日 至 2021年9月30日
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
四半期純利益	23,391	55,112
その他の包括利益 (△損失) - 税控除後		
外貨換算調整勘定	△8,148	△1,572
年金債務調整勘定	223	409
未実現デリバティブ評価損益	489	81
合計	△7,436	△1,082
四半期包括利益	15,955	54,030
控除：非支配持分に帰属する四半期包括利益	2,180	2,279
当社株主に帰属する四半期包括利益	13,775	51,751

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

区分	前第2四半期 連結累計期間 自 2020年4月1日 至 2020年9月30日	当第2四半期 連結累計期間 自 2021年4月1日 至 2021年9月30日
	金額 (百万円)	金額 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期純利益	42,621	99,297
四半期純利益から営業活動による現金及び現金同等物の増減(純額)への調整		
減価償却費等	64,713	67,761
法人税等繰延分	△2,689	△6,541
投資有価証券評価損益及び減損	63	△171
固定資産売却損益	△99	△1,151
固定資産廃却損	1,099	1,221
未払退職金及び退職給付債務の増減	△237	△3,852
資産及び負債の増減		
受取手形及び売掛金の増減	72,882	16,450
たな卸資産の増減	△32,499	△53,182
支払手形及び買掛金の増減	△25,801	10,196
未払法人税等の増減	△1,406	10,466
その他(純額)	33,889	16,938
営業活動による現金及び現金同等物の増減(純額)	152,536	157,432
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の購入	△85,278	△82,283
固定資産の売却	6,010	13,237
投資有価証券等の売却	21	2
投資有価証券等の購入	△537	△221
子会社及び持分法適用会社株式等の取得(現金取得額との純額)	△1,717	—
その他(純額)	1,477	△37
投資活動による現金及び現金同等物の増減(純額)	△80,024	△69,302
財務活動によるキャッシュ・フロー		
満期日が3カ月超の借入債務による調達	407,541	211,873
満期日が3カ月超の借入債務の返済	△418,930	△259,517
満期日が3カ月以内の借入債務の増減(純額)	△33,828	△328
配当金支払	△36,859	△34,986
子会社の株式発行による収入	—	30,440
その他(純額)	△4,938	△6,571
財務活動による現金及び現金同等物の増減(純額)	△87,014	△59,089
為替変動による現金及び現金同等物への影響額	1,340	1,984
現金及び現金同等物純増減額	△13,162	31,025
現金及び現金同等物期首残高	247,616	241,803
現金及び現金同等物四半期末残高	234,454	272,828

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	864,314	28,928	64,475	957,717	—	957,717
(2) セグメント間の内部売上高	12,236	3,824	463	16,523	△16,523	—
計	876,550	32,752	64,938	974,240	△16,523	957,717
セグメント利益	52,217	4,682	4,102	61,001	△244	60,757

当第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	1,181,633	28,906	80,861	1,291,400	—	1,291,400
(2) セグメント間の内部売上高	3,730	8,073	834	12,637	△12,637	—
計	1,185,363	36,979	81,695	1,304,037	△12,637	1,291,400
セグメント利益	118,620	7,845	8,598	135,063	△243	134,820

前第2四半期連結会計期間（自 2020年7月1日 至 2020年9月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	444,309	14,980	39,697	498,986	—	498,986
(2) セグメント間の内部売上高	6,430	1,851	219	8,500	△8,500	—
計	450,739	16,831	39,916	507,486	△8,500	498,986
セグメント利益	29,017	2,787	2,395	34,199	△80	34,119

当第2四半期連結会計期間（自 2021年7月1日 至 2021年9月30日）

（金額単位：百万円）

	建設機械 ・車両	リテール ファイナンス	産業機械他	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	588,624	14,149	40,361	643,134	—	643,134
(2) セグメント間の内部売上高	2,392	2,377	491	5,260	△5,260	—
計	591,016	16,526	40,852	648,394	△5,260	643,134
セグメント利益	64,970	4,630	4,395	73,995	△87	73,908

（注）1. 事業の種類別セグメントに含まれる主要製品・事業内容は、次のとおりです。

a. 建設機械・車両セグメント

掘削機械、積込機械、整地・路盤用機械、運搬機械、林業機械、地下建設機械、地下鉱山機械、環境リサイクル機械、産業車両、その他機械、エンジン、機器、鋳造品、物流関連

b. リテールファイナンスセグメント

販売金融

c. 産業機械他セグメント

鍛圧機械、板金機械、工作機械、防衛関連、温度制御機器、光学機械

2. セグメント間の取引は、独立企業間価格で行われています。

【地域別情報】

前第2四半期連結累計期間（自2020年4月1日至2020年9月30日）及び当第2四半期連結累計期間（自2021年4月1日至2021年9月30日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（金額単位：百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
前第2四半期連結累計期間	168,712	358,280	132,225	79,004	170,720	48,776	957,717
当第2四半期連結累計期間	170,044	484,909	216,846	66,556	263,803	89,242	1,291,400

※ 日本及び中国を除きます。

前第2四半期連結会計期間（自2020年7月1日至2020年9月30日）及び当第2四半期連結会計期間（自2021年7月1日至2021年9月30日）の地域別外部顧客に対する売上高は次のとおりです。

（金額単位：百万円）

	日本	米州	欧州・CIS	中国	アジア※・オセアニア	中近東・アフリカ	連結
前第2四半期連結会計期間	94,469	185,131	69,943	32,304	89,127	28,012	498,986
当第2四半期連結会計期間	89,851	242,029	108,182	25,454	130,709	46,909	643,134

※ 日本及び中国を除きます。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。